

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	特産品ブランド認証事業			事業コード	2263
担当課等	所属名	商工観光部 ブランド推進課	担当係名		
	課長名	商工観光部 ブランド推進課	担当者名	小原幹男	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	魅力あふれる物産の振興	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 盛岡ブランド推進事業(010-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input checked="" type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (平成17年度 ~ 平成26年度)					
事務事業の概要	確かな品質・技術を伝える盛岡生まれの地場産品である証となる認証ロゴマークを作成し、PRイベントの実施、認証品の宣伝や啓発を行う。					
根拠法令等	盛岡ブランド推進計画					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成18年1月に策定した盛岡ブランド推進計画の中で、主要4プロジェクトの1つに「盛岡特産品ブランド認証」を位置づけ、認証制度を導入するとともに、伝統と暮らしに根ざした数多くの工芸品や農産物、名物料理の一層のブランド化をすすめることとした。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
認証事業者からはPR効果が増したとの声があるが、全体的には更なる知名度向上が求められている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証事業所については、新規認証の伸びは鈍化した。今後は認証商品の効果的な宣伝・販売方法について更なる検討が必要である。</li> <li>・財源となっている岩手県の合併市町村自立支援交付金が平成22年度で終了するため、事業を継続するための工夫が必要である。</li> <li>・認証更新の時期を迎えており、事業所に対する指導とともに、認証によるメリットを改めて説明する必要がある。</li> </ul>						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	盛岡特産品ブランド認証業者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡特産品ブランド認証業者数 B. 盛岡特産品ブランド認証品目数 C.	単位 単位 単位	事業所 品目
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 盛岡デー、特産品ブランドフェア、盛岡りんごフェア等の販売促進催事を開催するとともに、認証商品のパンフレットを作成し啓発を行った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 盛岡デー、特産品ブランドフェア、盛岡りんごフェア等の販売促進催事を開催するとともに、認証商品のパンフレットを作成し啓発を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 販売促進催事開催回数 B. パンフレット配布部数 C.	単位 単位 単位	回 部
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	盛岡の特産品の普及により、盛岡のブランドイメージ向上を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 盛岡特産品ブランド催事売上額 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】 B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】 C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位 単位 単位	千円
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	特産品が創出され、育成される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	特産品の取扱高(盛岡市特産品振興協議会会員企業)(単位:百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡特産品ブランド認証業所数	事業所	94	102	110	104	110	115	26年度 115
対象 指標B	盛岡特産品ブランド認証品目数	品目	670	722	800	775	850	900	26年度 1000
対象 指標C									年度
活動 指標A	販売促進催事開催回数	回	9	11	10	11	10	10	26年度 10
活動 指標B	パンフレット配布部数	部	5000	3000	3000	1500	2000	2000	26年度 2000
活動 指標C									年度
成果 指標A	盛岡特産品ブランド催事売上額	千円	17900	82450	85000	55425	70000	70000	26年度 80000
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	3,150	3,150	3,150	3,150	1,768	1,768	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円	3,150	3,150	3,150	3,150			*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	1,768	1,768	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	3,150	3,150	3,150	3,150	1,768	1,768	*****
延べ業務時間数		時間	400	400	400	400	400	400	*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,750	4,750	4,750	4,750	3,368	3,368	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 盛岡特産品ブランド認証商品の普及により、特産品の振興に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 物産の振興による地場産業の浮揚は市がやるべき事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 特産品の普及により、盛岡のブランドイメージが向上すると考えられるので、意図は現状で適切である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 認証商品の宣伝・販売についてさらに効果的な手法を検討する必要がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 当該事業は特産品の宣伝・販売・販路拡大に効果を及ぼしており、事業の廃止・休止は施策の成果に悪影響である。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 特産品の更なる販路拡大を検討している中、事業費を削減する余地はない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 盛岡特産品ブランド認証についての事務局は委託しているが、委託に係る事務やその他事務について業務時間数を削減する余地はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 盛岡市内の事業所であれば、認証申請することができる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 認証申請については手数料を徴収しており、当該収入は宣伝広告用の認証商品カタログ作成に充当している。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認証商品カタログの刷新を図り、より効果的な宣伝・販売に努める。</li> <li>・盛岡ブランド推進計画は平成17年度から26年度までの10年間であるが、財源となっている岩手県の合併市町村自立支援交付金が平成22年度で終了するため、事業を継続するための財源確保が課題。事業内容を精査し、必要な事業費を算出するとともに、新たな交付金や補助金メニューの調査と一般財源振り替えについて検討していく。</li> </ul> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より効果的に宣伝・販売するためには特産品ブランド認証業者間での連携が必要である。</li> <li>・新たな財源を確保できるかが最大の課題となる。新たな特定財源を見出せるか未確定であり、一般財源への振り替えは原則として認められていない。予算配分について市長判断が必要と思われる。</li> </ul>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり :</p> <p>② 有効性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり :</p> <p>③ 効率性      ○ 妥当                      ● 見直し余地あり :</p> <p>④ 公平性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>認証事業者の更新がなされない事業者もあることからその原因について確認し、認証のメリットについて周知していかなければならない。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携             </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>認証商品カタログの刷新を図り、より効果的な宣伝・販売に努めることにより、認証のメリットをたかめ認証事業者の増加を図る。</p>							